

ま え が き

令和7年度大学入学共通テストは、令和7年1月18日・19日（追・再試験1月25日・26日）に176国公立大学、522私立大学、11公私立専門職大学、129公私立短期大学が参加して実施されました。今回から平成30年告示の高等学校学習指導要領に対応した試験が行われ、旧教育課程履修者への経過措置として一部の科目では旧課程科目の試験も行われました。受験者数は462,066人で、今回も多くの関係者の方々の御協力により、大きな事故もなく完了することができました。

独立行政法人大学入試センターでは、大学入学共通テストの試験問題の評価・分析を行うために、大学入学共通テスト問題評価・分析委員会を設置しております。当委員会は、高等学校教員等から成る外部評価分科会と、試験問題を作成した問題作成部会委員から成る自己点検・分析・評価分科会の二つの分科会で構成され、それぞれに分科会長を置いております。また、この委員会とは別に、各試験科目に関連が深い関係教育研究団体にも意見・評価を依頼しております。

令和7年度試験終了後、大学入学共通テストで出題された試験問題の内容・範囲、分量・程度、表現・形式等について、外部評価分科会及び関係教育研究団体から評価結果をいただきました。そしてこの度、これらの意見・評価に対する自己点検・分析・評価分科会の見解を付して、「令和7年度大学入学共通テスト問題評価・分析委員会報告書」を作成いたしました。本報告書の内容は、今後の大学入学共通テストの問題作成に寄与することはもちろん、各大学における入学試験問題作成の参考にもしていただけるのではないかと考えております。また、高等学校教育における各科目の参考資料としても御活用いただければ幸いです。

大学入試センターとしては、大学入学共通テストの試験結果等を十分に分析、研究するとともに、本報告書に掲載されている意見をはじめ各方面から寄せられた御指摘も参考にして、より良質な試験問題の作成に取り組んでいく所存であります。

各位の御支援と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和7年6月

独立行政法人大学入試センター 試験・研究統括官

大学入学共通テスト問題評価・分析委員会委員長 山 地 弘 起